

うちなだ 議会だより

Vol.151

令和4年(2022)

11月4日発行



元気内灘地域応援クーポン券 9月会議 …… 2 - 3

自主財源の拡充を目指せ 令和3年度決算 …… 4 - 5

委員会レポート …… 6 - 7

早期に給食センターの建て替えを図れ

コミュニティバスの運休放送

オミクロン株対応のワクチンは十分あるのか

決算特別委員会

総務産業建設常任委員会

文教福祉常任委員会

内灘町公共施設管理公社特別委員会 報告 …………… 8

一般質問 6人が登壇 …… 11 - 17

街かどインタビュー …………… 18



応援クーポン券

9月会議
6日~21日

令和4年内灘町議会9月会議が6日から21日まで開催され、補正予算、条例改正を含む議案等9件、令和3年度一般会計歳入歳出決算など決算認定7件を審査し、全て原案のとおり可決・承認した。また、人事案件を同意としたほか、意見書1件を可決した。

物価高騰への負担軽減支援

元気内灘地域応援クーポン券事業

500円×10枚×11,150世帯 5550万円



保育所、保育園の給食材料費・光熱費 481万円

小中学校給食材料費 516万円

介護保険施設運営支援金等 630万円
(介護保険グループホーム・軽費老人ホーム・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設)

畜産業（飼料）補助金 209万円
(町内で酪農業を営む者を対象に牛1頭当たり1250円)

水産業（原油）補助金 50万円
(町内に住所を有する県漁協組合内灘支所の組合員を対象に燃油1リットル当たり10円)

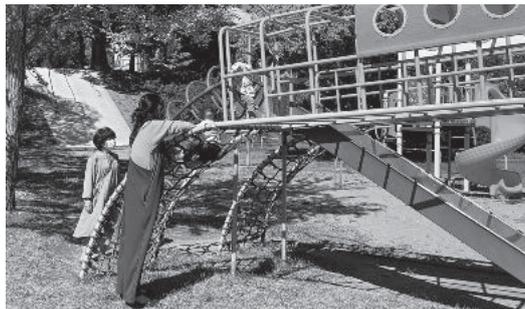
サイクリングターミナル運営支援金 115万円

ほのぼの湯運営支援金 360万円

体育施設運営支援金 290万円
(エイム・プラッツ・管理公社)

公園整備 1000万円

- 道の駐車場（大学第3公園に整備）
- 向陽台公園
災害に備えて公園の一角を避難広場へ改修するにあたり、マンホールトイレや太陽光照明の資材が高騰したため工事費用を増額



避難広場へ改修される向陽台公園

補正予算
注目事業を
ピックアップ

第4弾

元気内灘地域

GIGAスクール事業

小中学校特別教室にもネットワークを延伸

小学校 1780万円

中学校 740万円



オミクロン株対応 ワクチン接種

7500万円



公共交通活性化事業

889万円

令和5年度コミュニティバス改編に伴う
バス停改修等の準備費用など

デジタル化推進事業

127万円

高齢者スマホ教室の開催
町民アンケート調査等



図書館費

500万円

基本計画を策定するための委託料

お問い合わせ

議会事務局

076-286-6715

- ・感染症対策のため、定員は32名です。
- ・役場庁舎3階エレベーター横で受付してください。
- ・傍聴時はマスク着用・手指消毒・検温にご協力ください。

午前10時～

12月8日・9日

一般質問は

です。

12月会議の審議日程は
12月6日(火)～15日(木)



たかさか
高坂

まゆみ
真由美氏

(再任) 白帆台

教育委員会委員

人事案件

条例の改正
職員の育児休業等に関する条例
・取得回数制限の緩和
・非常勤職員の育児休業の取得要件緩和と取得の柔軟化

拡充を目指せ

歳出
111億2318万円
(17.7%↘)



町民一人あたりの費用
42万5117円/人
令和2年度 51万3052円/人

このように使われました

民生費 17万2746円/人
障がい者・高齢者・児童への支援などに使ったお金



借入金の返済 4万5659円/人
町の借入金を返済するために使ったお金



教育費 4万4440円/人
小中学校の運営や生涯学習・体育振興などに使ったお金



総務費 4万3876円/人
庁舎管理、戸籍、徴税、選挙、防災、統計などに使ったお金



土木費 4万966円/人
道路や公園整備などに使ったお金



衛生費 3万2376円/人
保健事業やごみ収集、環境保全などに使ったお金



諸支出金 1万5734円/人
積立金などにつかったお金



消防費 1万900円/人
消防団活動、救急などに使ったお金



商工労働費 7722円/人
商工業の振興や観光事業、雇用対策などに使ったお金

農林水産業費 6146円/人
農業振興、農業委員会運営、畑地かんがい施設維持補修などに使ったお金



議会費 4552円/人
議員報酬や議会活動に使ったお金



令和3年度決算に対する指摘事項

- 1. 自主財源を確保し、自立度の高い財政構造を**
町税収入額が地方交付税額を下回る事態となった。定住促進策を積極的に推進するなど、本町の特色を活かした税収増を図り、自主財源が依存財源より優位となる自立度の高い財政構造を構築せよ。
- 2. 風力発電施設の方向性の結論を早急に出すべき**
施設整備時の借入金の償還が令和5年度で終了する。長期間停止している風力発電施設の今後の方向性について選択肢を精査して早急に結論を出すべきだ。
- 3. 内灘海岸賑わい創出のため旧浜茶屋撤去の方向性を早急に出すべき**
旧浜茶屋撤去は、他県の事例も示し、県に対して代執行を強く求めていくべきだ。また事業費捻出の手段としてクラウドファンディング等の手法も検討すべきだ。
- 4. 土地開発公社で先行取得した用地の事業の進捗を図れ**
土地開発公社が事業用地を借入金により取得しているが、長期にわたり事業に着手していない。未買収の土地に関しては粘り強く交渉し、事業の進捗を図るべきだ。土地開発公社の在り方も検討すべきだ。
- 5. 給食センターの早期改築を検討せよ**
現給食センターは建物・設備ともに老朽化が進み、維持修繕費がかさんでいる。暑さが厳しく労働環境は劣悪である。町全体の優先事業を見直し、早急に改築すべきである。また、整備手法に関しては、子どもたちの食の安全を第一にして検討すべきである。
- 6. ふるさと寄付金の返礼品は創意工夫すべき**
- 7. 光ファイバー回線網の利活用を推進せよ**
- 8. 老朽化した消雪装置を計画的に改修すべき**
- 9. サンセットブリッジ内灘のライトアップ設備の更新を図れ**
- 10. 子どもたちに中国語に触れる機会を設けるべき**
- 11. サイクリングターミナルの今後の運営方針について検討せよ**

その他



令和3年度一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の7会計決算は、決算特別委員会に付託され、審査の結果、全ての決算を認定した。なお、各会計の認定審査の過程で、特に問題とされた11の項目を指摘事項（4ページ右枠掲載）とした。

審査の意見

一般会計

歳入では町税が前年度比で2.3%減の26億5581万円となり、一方、地方交付税は前年度比で10.6%増の28億5219万円となった。一般財源の大本は町税と地方交付税の2つの税だが、本町では近年では初めて自主財源の町税が依存財源の地方交付税を下回った。地方交付税増額の主な要因が国税収入の大幅増加であったとはいえ、財政の柔軟性や自立性を確保するためには、常に自主財源が依存財源を上回る財政構造の確立に努めるべきである。

特別会計

特別会計の4事業は国民健康保険特別会計を除いては黒字決算となっている。国民健康保険特別会計も平成28年度に生じた約2億円の赤字額を毎年減らし続け、令和3年度末の時点では1132万円となった。新エネルギー事業特別会計は風力発電施設が運転停止状態で維持管理費用のみが支出されるものであることから今後の方針を速やかに決定すべきである。

一般会計の貯金と借金

	一般会計	基金の計	一般会計	町債の計
令和元年度	11億3869万円		127億9859万円	
令和2年度	16億837万円		130億3969万円	
令和3年度	20億5120万円		128億754万円	

町民一人あたりの

貯金 7万8395円/人
令和2年度 6万1025円

借金 48万9491円/人
令和2年度 49万4752円

※令和4年3月人口 26,165人で計算（前年度より191人減）

特別会計決算

会計名	収入額	支出額
新エネルギー事業	1606万円	1606万円
国民健康保険	24億6340万円	24億7473万円
後期高齢者医療	3億2803万円	3億2791万円
介護保険	20億1459万円	19億8542万円

水道事業会計決算

区分	収入額	支出額
収益的収支	5億8137万円	5億3265万円
資本的収支	1億3832万円	1億9410万円

下水道事業会計決算

区分	収入額	支出額
収益的収支	9億2386万円	9億2905万円
資本的収支	13億4951万円	16億2382万円

歳入
112億7679万円
(17.3%↘)

地方交付税

28億5219万円 25.3%
(10.6%↗)

町税

町民税、固定資産税
軽自動車税、町たばこ税
入湯税、都市計画税

26億5581万円 23.6%
(2.3%↘)

国庫支出金

25億7144万円 22.8%
(46.9%↘)

借入金

9億459万円 8.0%
(24.8%↘)

地方譲与税 7461万円 0.7%(1.7%↗)

繰越金 7295万円 0.7%(8.7%↗)

使用料及び手数料 6658万円 0.6%(1.8%↗)

分担金及び負担金 6605万円 0.6%(4.7%↗)

県支出金

8億1687万円 7.2%
(11.8%↘)

地方消費税交付金

5億9948万円 5.3%
(9.5%↗)

諸収入

3億6119万円 3.2%
(16.1%↗)

2億3503万円 2.0%
(0.1%↘)

・()内は前年度比

算別会

決特委

早期に給食センターの 建て替えを図れ

建て替えを図れ

◎西尾雄次 ○北川悦子
中川 達 恩道正博 磯員幸博

決算委員会では、財源確保策として、空き宅地の活用で人口増加を図る必要性が議論された。また、昭和58年建設の給食センターは施設設備の老朽化問題や夏は暑く冬は寒い労働環境の改善策として、早急な建て替え計画の樹立が必要との意見等も出された。

収入増・自己財源確保

問 既存の住宅地で家屋の歯抜けが多くなってきた。民間と協力してこれらの土地を活かし、人口増につながる手だてを講じる必要があるのでは。

答 個人の財産なので難しいが、今後、住宅・土地の活用を検討したい。

問 税収が横ばい状態だ。町としてもっと町税を獲得できる攻めの施策を積極的に展開する必要があるのでは。

答 人口増加は行政の基本だと思うので、自己財源確保に向けた施策を検討する。

旧浜茶屋の撤去

問 内灘海水浴場の旧浜茶屋の状況をどう捉えているのか。湘南では県が代執行した事例もある。

答 状況は全く進展していない。県との話の中で、町の負担について話が出ているが断っている。湘南の事例は町も承知している。



撤去が待たれる旧浜茶屋



子どもたちに食の安全を

給食センター

問 給食センターの建て替え時期は何年後か。

答 学校の大規模改修が続くので令和10年の予定だ。

問 内灘の給食センターは時代遅れの状態で働く方々の置かれた環境も劣悪なため、早急に建て替えすべきだ。

答 給食センターの施設全体の更新が必要なのは十分認識している。小学校の改修後、できる限り早めていきたい。

どうなった？ 令和2年度決算の指摘事項

各種クーポン等のデジタル化を検討すべき

・DX推進の取組の中で検討する。デジタル機器に不慣れな方への対応も検討する。

サンセットブリッジ内灘のライタップ設備の更新を図れ

・多額の費用がかかるので国補助事業等の情報収集に努める。また民間活力の導入なども調査研究する。

総合公園の一体的整備を検討せよ

・総合公園周辺は、町の観光やスポーツの拠点に位置づけられており、今後、さらなる賑わいを創出できるような検討していく。

GIGAスクール構想で整備したタブレットパソコンを有効に活用せよ

・全ての児童生徒にタブレットパソコンが行きわたるよう整備を済ませ、授業中はもちろん、休暇で自宅に持ち帰り家庭でのオンライン学習も実施している。

風力発電施設の方向性を早急に出すべき

・風力発電施設は、民間譲渡への可能性や脱炭素関連の交付金等、国の動向を注視していく。その中で方向性を検討していく。

空き家活用事業補助金は活用しやすいように制度を見直すべき

・空き家リフォーム工事に対する補助は、令和4年度から賃貸契約の締結前1年以内に完成した工事に要した費用も対象とした。

要保護児童対策の強化を検討すべき

・令和3年度に「子育て世代包括支援センター」を、令和4年度には「子ども家庭総合支援拠点」を開設し、子育て期の切れ目のない支援と相談業務の拡充に努めている。また、虐待だけでなく支援が必要な家庭の支援体制も強化している。

ファミリーサポートセンターの充実を図るべき

・新規提供会員の募集に向けて町ホームページ等で養成講座の周知と当センターのPRを行っている。養成講座の受講機会を増やすなど提供会員の増加にも取り組んでいる。

ふれあい農園の拡充を検討すべき

・定員を大幅に超える申し込み状況が続くようなら区画数の拡大を検討する。

公園利用におけるマナー向上、ルールの整備を図れ

・公園利用のルールやマナーは、町ホームページで周知、啓発を行っている。令和4年度から一部の公園では、地元(区町会)の協力を得て別途ルールを設け、使用いただいている。

長寿祝券見直しを検討せよ

・満75歳の長寿祝券は、令和4年度からコミュニティバス回数券に加え、町商工会商品券、展望温泉ほのぼの湯利用券を組み合わせて贈呈する。

総務産業 建設常任 委員会

防災行政無線が聞こえない コミュニティバスの運休放送

◎中川 達 ○南 守雄 生田勇人
磯貝幸博 米田一香(欠)

一般会計補正予算と職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(取得回数制限緩和など)を審査し、全てを可決した。

また令和5年度からのコミュニティバス運行業務は、路線別に日本海観光バス株式会社と金城交通株式会社の2社を選定したなどの報告を受けた。

問 運転手の新型コロナウイルス感染によるコミュニティバスの運休放送で、苦情はなかったか。
答 聞き取れないという問い合わせがあった。

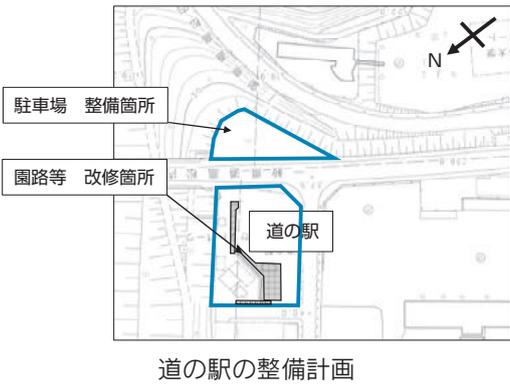
問 保護者メールのような周知方法を検討してはどうか。
答 イベント等の情報発信メールの運用などを検討したい。

問 高齢者向けスマホ教室
問 スマホ教室は大手キャリアが無料で実施しているのではないか。
答 検討した結果、町単独で事業を行いたい。1事業者に依頼し、高齢者に合わせて、基礎的コースと応用的コースを実施する。

町会行事の保険加入状況

問 大学町会で非常に痛ましい交通事故死亡事故があった。町内美化清掃におけるものだが、町は各町会の保険加入状況を把握しているか。
答 各町会の保険加入状況を調査し、各町会長と協議する。

問 道の駅の向かい側駐車場整備
せつくなので、アスファルト舗装にした方がよいのではないか。
答 駐車場の利用状況を踏まえて、今後検討したい。



道の駅の整備計画

文教福祉 常任 委員会

オミクロン株対応の ワクチンは十分あるのか

◎恩道正博 ○土屋克之 夷藤 満
北川悦子 七田満男 西尾雄次

オミクロン株対応の新型コロナワクチン接種事業7500万円の追加補正や新しい図書館の基本計画に500万円増額の議案について審査した。

問 余っている今までのワクチンはどうするのか。オミクロン株接種可能な人数は。
答 従来のものは保健センターにあり、1回目・2回目を完了されていない方で、接種を希望する方に使用する。オミクロン株対応ワクチンの数は現在確定はできないが、国は十分準備しているとのことだ。

問 オミクロン株対応ワクチン接種の周知は、防災・防犯メールの活用も含め、あらゆる方法で周知を。
答 全体的に分かる方法を工夫したい。チラシを配布予定。



ワクチン接種の受付

問 不妊治療
問 不妊治療の人数と、治療を受け出産に至ったケースは。
答 助成件数は延べ45件。令和3年度出生が確認できたのは24件。

問 保険適用はいつからか。適用にならない場合について説明を。
答 令和4年4月から。混合診療を日本は認めていないため、保険適用外の診療を受けると全てが保険適用外となる。

新図書館

問 図書カードは、他市町村でも1枚のカードで使用できる利便性のあるものにせよ。
答 県内の図書館の集まりで図書カードの一元化の議論をしていきたい。

問 今の時代、デジタル図書などデジタル化が主流。建物だけ新しくしても時代にマッチしていない。
答 デジタル図書は、津幡町やかほく市でも導入した。金額はかなり高い。利便性は良い。検討していく。

内灘町公共施設管理公社特別委員会 報告



内灘町公共施設管理公社の経営悪化の現状と今後の運営・方向性に関して議論するため、内灘町議会は令和3年3月16日に内灘町公共施設管理公社特別委員会を設置した。

特別委員会は令和3年4月13日の第1回から、令和4年9月20日にかけて計10回開催され、管理公社の今後の運営及び方向性、公社施設での自動販売機設置契約の不透明性、公社内のパワーハラ問題等について審査してきた。

特別委員会から管理公社に指摘した主な事項

1. 公共施設での自動販売機の設置について、契約の透明性の確保（議会だより147号に掲載）
2. 管理公社の役員体制や職員の採用などの透明性と公平性の確保（議会だより147号に掲載）
3. 管理公社内で事務局次長から職員へのパワーハラスメントの疑いがあり、全職員からアンケート調査を定期的実施すべき
4. 管理公社の経営改善に関する提言書を令和3年9月に町へ提出（議会だより147号に掲載）

指摘事項に対する町の対応

- ・特別委員会の指摘に対し、第三者委員会を設置
- ・令和4年3月、管理公社から特別委員会へ提言に対する対応の報告があった（議会だより149号掲載）
- ・管理公社の役員体制や職員採用などについて、透明性や公平性を保つため、内規を見直す考えが示され、必要に応じて会計士など専門家を入れることも示された

第三者委員会 報告

◆第三者委員会

管理公社内のパワーハラスメントの事実関係調査のため、令和3年8月に**弁護士を含む3名の構成で**設置され、公社から提供された各書類・関係者からのヒアリングなど計9回開催された。

◆結論

事務局次長兼サイクリングターミナル所長による2件のパワーハラスメント行為を認定した。

第一点は勤務表で特定の職員の名前をローマ字で逆さに書いた件

第二点は県外に出張中の関係団体職員を合理的な理由がないのに急に呼び出した件

これを受け、管理公社理事長は…

→ 処分（令和4年7月29日）

事務局次長兼サイクリングターミナル所長に、就業規則に基づき始末書を提出させ、平均賃金の一日分を1カ月のみ減給する処分を決定した。

→ パワーハラ被害が認められた職員2人は、事務局次長と接する機会のない部署へ配置転換した。

以上の報告を受けた。

委員からは、パワーハラ問題について「議会で第三者委員会を設置し再調査すべきだ」との意見があった。

意見書の提出



写真提供 参議院事務局

可決

議会議案第3号
少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書

◎提出者 七田満男
○賛成議員 中川達 恩道正博

要旨
豊かな学びや学校の働き方改革を実現するために、中学校、高等学校での35人学級の早期実現を目指し、教職員の定数改善を求めるもの。

意見書とは
提出議員の他に1名以上の賛成議員をもって、議会議案として提出され、本会議の可決をもって内閣総理大臣および国・県等の関係機関に提出される。

討論

9月会議審議議案と議員の採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	土屋	西尾	米田	磯貝	七田	生田	恩道	北川	夷藤	清水	南	中川
				克之	雄次	一香	幸博	満男	勇人	正博	悦子	文雄	守雄	達	
議会議案第2号	内灘町議会決算特別委員会の設置について		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
選任第1号	内灘町議会決算特別委員会委員の選任について		選任	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第36号	令和4年度内灘町一般会計補正予算(第2号)		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第37号	令和4年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第38号	令和4年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第39号	令和4年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第40号	令和3年度内灘町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第41号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第1号	令和3年度内灘町一般会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第2号	令和3年度内灘町新エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第3号	令和3年度内灘町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第4号	令和3年度内灘町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第5号	令和3年度内灘町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第6号	令和3年度内灘町水道事業会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第7号	令和3年度内灘町下水道事業会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第42号	令和4年度内灘町一般会計補正予算(第3号)		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第43号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議会議案第3号	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について		可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、-は採決に加わらない

モニター意見交換会

9月2日

2年間
ありがとうございました!



5名の議会広報モニターの方に参加いただき意見交換会を開催しました。広報紙へのご意見に加え議会への叱咤激励もいただいたりと、直接ご意見をお聞きできるのは私たちにとっても貴重な時間でした。

モニターさんからのご意見

● 町民として、また議員の皆さんの頑張りを見ていきたいです。

● 今後、ズバツといえる場がなくなるのも寂しいです。

● 議会だよりは読んでもらわないと意味がないので、かなり辛口に書かせていただきました。

● あつという間に終わりました。もっと言いたいことは、いっぱいありました。モニターの意見に対する委員会からの回答があることは、よかったです。

● 議員のやっていることを知りたい。それを知るには、一般質問と委員会レポートです。もっと詳しく書いてほしいです。

● 150号記念号は、ちょうどいい期間を関わったと思っています。

● モニターからの回答用紙には「町政についてもご意見あれば」という欄があったらと思います。

- (順不同)
- 北川眞由美さん (向粟崎)
 - 南明さん (旭ヶ丘)
 - 樽沼留美さん (アカシア)
 - 高神和也さん (鶴ヶ丘東)
 - 永田三好さん (大根布)
 - 南山昌宏さん (大学)
 - 飯田智さん (宮坂)
 - 豊原菊生さん (白帆色)
- 2年間ありがとうございました

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

中学校のトイレ個室に 生理用品の配置を

令和3年6月から4回目の質問になる。これまで答弁は、保健室で配布し、試験的にもトイレへの配置は考えていなかった。生徒にシールアンケートをお願いすると、個室に置いてほしいという声が圧倒的多数だった。

令和4年6月

北川 悦子

答 弁

実施に向け検討

生徒たちの思いを受け止め、今後、近隣市町の実施状況を調査し、実施に向け検討する。

その後

令和4年7月 トイレ個室に生理用品を配置

中学校女子トイレの全個室に、生理用品が入った巾着の配置が始まった。「困ったことがあればいつでも保健室へ相談に」とのメッセージも書かれている。



小中学校・公共施設の トイレを洋式化せよ

町の小中学校・公共施設の洋式化率を聞く。子どもたちが1日の大半を過ごす生活の場として、また地域開放や災害時の避難場所としても急速な改善が必要だ。

平成28年12月

七田 満男

答 弁

今後の改修にあわせ進めていく。

小中学校の洋式化率は58.5%、公民館などの社会教育施設は70.2%、体育施設は56.2%。小中学校の洋式化は、大規模改修等にあわせて進め100%を目指したい。公民館・体育施設等においても、今後の改修にあわせ進める。

その後

令和4年10月現在 順次進めている

小中学校の洋式化率は70.3%、社会教育施設では79.1%、体育施設は57.1%まで進んでいる。



監査委員表彰

南 守雄 議会選出監査委員

令和4年9月28日、監査委員として15年にわたる監査制度の高揚と地方自治の振興発展への貢献に、石川県町村監査委員協議会から表彰を受けられました。



町政も問う

6人が登壇

一般質問 (9月8日)

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。

いくた はやと 生田 勇人 12

- ・防潮水門移設後の放水路両岸親水空間整備要望について
- ・屋内体育施設(学校施設・町施設)の空調(冷房)設備整備について

きたがわ えつこ 北川 悦子 13

- ・県の子ども医療費助成増を子育て応援に
- ・物価高・コロナ感染から暮らしを守れ ほか1問

しちだ みつお 七田 満男 14

- ・公園のトイレを洋式化せよ
- ・放水路両岸の親水空間の整備について

おんどう まさひろ 恩道 正博 15

- ・高校生通学費助成について
- ・通学路の安全対策について

題字 つちや かつゆき 土屋 克之 16

- ・蓮湖渚公園にドッグランを
- ・公民館等に介護関係者等の駐車スペースを

にしお ゆうじ 西尾 雄次 17

- ・「コンビニ交付」参加計画の前倒しを図れ
- ・公民館等のWi-Fi環境を早期に整備を

上野雅子さん(西荒屋)



くろまる
12歳 ♂
ポメラニアン
向栗崎



いた はやと
生田 勇人

町一丸となつての要望が急務

町長 新たな観光拠点として整備

問 県議会で太田県議が放水路防潮水門移設に伴う両岸の**※親水空間整備**を質問した際、馳知事も大賛成との答弁だった。内灘大橋ライトアップ改修と親水空間整備は、観光交流人口拡大と定住促進の起爆剤として、町民憩いの空間として多大な効果を発揮できる。基本構想を作成し、町一丸となつて国と県に要望することが急務だ。



年中ライトアップ 富岩運河環水公園

答 河北潟放水路防潮水門移設工事の令和11年度の完成に合わせて、周辺を新たな観光の拠点として整備し、賑わいの創出が図れたらと強く考えていた。放水路周辺整備に当たり、北陸農政局や石川県などの関係機関と協議を進め、整備構想の作成に向け、今後しっかりと検討した上で町一丸となつて要望していきたい。

体育施設の冷房整備を

問 コロナ禍続きによる町民の体力低下が懸念されており、それに加えての高温多湿な屋内体育施設の環境は練習の質と集中力の低下やケガへとつながる。また災害発生時には避難場所に指定されており、空調設備は喫緊の課題だ。安心安全を確保するため小中学校の体育館はじめ屋内体育施設への冷房設備の設置を。

答 町民の健康づくりや各種競技力の向上のため運動に取り組みやすい環境を施設利用者に提供すること、また災害時における避難者の心身の安全確保は大変重要なことと認識している。体育施設の空調設備には、整備や運用に多額の費用が必要となるため、その整備手法や財源の確保などを今後調査研究していきたい。



熱中症対策にエアコンを

※親水空間整備
親水とは水や川に触れることで、水や川に対する親しみを深めることを指す造語。人工的に構築・改修された河川や水路を賑わいや人々の交流の場・憩いの場へと創出するための整備。



きたがわ 北川 えつこ 悦子

県の助成増額分は子どもの給食費に 来年度実施に向け検討中 町長

一般質問



増額分は給食費助成に

問 県は子ども医療助成対象年齢を令和5年度より通院3歳から就学前に拡充する。助成額の増額を問う。

答 年間約500万円の増額を見込んでいます。

問 県からは、助成増額分は子育てに充てるようにとなっている。現在、内灘町の就学援助の学校給食費助成は80%だ。

答 子育て支援は給食だけの話ではない。例えば不妊治療とか様々な分野の子育て支援があり、学校給食の件も含めて来年度の施策実施に向け現在検討中だ。

他市町と同じく100%助成に充てるとか、学校給食費助成を3人以上にするとか、給食費助成の拡充に充ててほしい。町での具体策を問う。

コロナ感染

問 第7波のコロナ感染急拡大は、いつ誰が感染してもおかしくない状況にあり、情報が欲しいという声を聞く。コロナ感染関連での窓口相談件数と内容を問う。

答 新型コロナウイルス感染症に係る生活や健康、感染状況などの総合的な窓口を設置しておらず、件数は把握していない。相談内容は、担当部



ひと安心、オミクロン株対応ワクチン接種

署にて情報提供を行うなど適切に対応している。

問 コロナ感染予防と同じく、感染または疑わしい時の情報入手しやすくするため、広報やホームページで掲載が必要だ。

答 感染者や濃厚接触者となった方への情報提供は、統一した対応を要するため、町では難しいと考えている。

その他の質問

問 保健センターでの認知症カフェのこれまでの利用者数と内容を問う。

答 令和4年度から月1回開催。参加者数は延べ76名。専門家や家族などで意見交換を行っている。



しちだ みつお
七田 満男

公園のトイレを洋式化せよ

都市整備部長 計画的な改修に努める

問 トイレがある公園は13カ所、和式トイレのみの公園は2カ所。

答 現在、日本の生活様式は昔と違ってトイレにおいても今ではほとんどの家庭や学校では洋式トイレだ。大根布児童公園ではいまだに和式トイレで、膝が痛くてトイレを使えないとの高齢者の意見がある。町にある公園トイレの現状は。



公園トイレ 和式から洋式へ

問 これまでも高齢者など誰もが利用しやすいトイレとなるようユニバーサルデザインに配慮した改修整備に努めてきた。現在、公園施設の改修計画では、遊具等の長寿命化計画も行っているところだ。今後計画的な改修に努めていく。

答 手すりやバリアフリー対応の洋式トイレへ改修すべきだ。



つり場は安全が第一

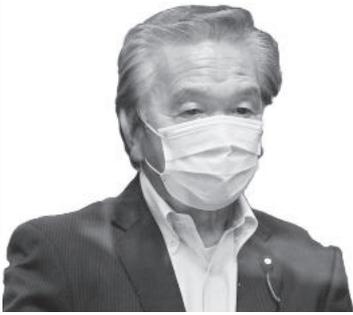
放水路親水空間整備

問 河北潟を先人は生業の場として利用してきた。漁業から農業へ変換したために閉鎖水域となり、水質汚濁が課題となった。現在、防潮水門や排水機場などの工事が行われている。河北潟に対しての思いと放水路両岸の親水空間整備は、どのように描いているのか。また、水門移設により、釣り人が今より増加する。ルールや安全対策は。

答 きれいな河北潟への強い思いがある。河北潟環境対策期成同盟会の活動においても継続した水質浄化に取り組んでいく。放水路周辺整備については水門移設工事において水門が内陸部へ移動し海水面が広がることからその空間を活かした整備に考えている。安全対策やルールづくりは、構想の具現化の折に検討したい。

※ユニバーサルデザイン(トイレ)

高齢者や障がいのある方、小さい子どもなど安心して利用できるトイレ。多目的トイレ・呼出ボタン・ベビシート・手すりなど様々な配慮がなされている。



おんどろ 恩道 まさひろ 正博

通学定期券に助成する制度の創設を 現在は実施する考えはない 町長

一般質問



通学に利用される浅野川線

問 平成27年度から始まった「※交通安全プログラム」に基づき、令和3年度通学路対策箇所（状況の中で、通学路で「登下校時の交通量が多いが、横断歩道はない」、今後の対策として「車に注意して横断するよう指導」とある。事故が起こつてからでは遅く、横断歩道を設置するなど根本的な対策等の今後の計画は。

答 内灘町※通学路安全連絡協議会で毎年、通学路の安全点検および安全対策の検討を行い、これまで車道を拡幅し右折車線の新設、防犯カメラの設置、地下道照明のLED化、車のスピード抑制を促す路面標示の新設など、安全対策を実施している。今後も安全点検等で危険箇所が判明したら関係機関と協力し、速やかに対策をする。

※通学路安全連絡協議会
PTA、学校ボランティア、学校、道路管理者、警察署、行政組織の代表者並びに交通安全の知識を有する有職者により組織する。

※交通安全プログラム
児童生徒の通学路の安全確保に向け、合同点検の実施・対策の検討⇕対策の実施⇕対策の効果の把握⇕対策の改善・充実の基本プログラムを定め、それを実施するため、毎年、通学路安全連絡協議会を設置している。



横断歩道のない危険な通学路

通学路の安全対策

今後も引き続き調査研究していく。

問 高校在学者数と主な通学地区は。

答 令和元年度から令和3年度の3年間に内灘中学校を卒業した生徒数は、739人で、高等学校等に734人が進学し、そのうち586人、約80%が金沢市内に通学。

問 就学期の子どもを抱える世帯の負担軽減を図るため、公共交通機関の通学定期券を購入して県内の高等学校などに通学する生徒などの保護者に対し通学費を助成する制度を創設してはどうか。

答 自転車通学などの生徒との不均衡も生ずることもあり、現在は実施する考えはない。



つちや かつゆき
土屋 克之

蓮湖渚公園にドッグランを 町長 設置場所や管理方法などを検討

問 議会だより150号記念号のインタビュー記事で、印象に残った言葉は、「蓮湖渚公園に照明付きのドッグランがあったら、もっと内灘町が好きになる」だ。ドッグランの整備は、過去にも一般質問されているが、現在の犬の登録数は何頭か。

答 令和4年3月末現在、1423頭だ。

問 平均すると7・8世帯に1頭になる。蓮湖渚公園にドッグランを設置する考えは。



駐車スペースを貸して



人と犬のいこいの場 木場潟公園

介護関係者等の駐車スペースを

問 在宅医療・介護を支援する仕組みづくりが必要だ。例えば①使つてよい公民館駐車場などの詳細を一覧表としてまとめる。②介護関係者等が名刺などを拡大したコピーをフロントガラスに置くだけで、一時駐車を認める。③定期的に介護関係者等にこの内容の一斉通知を出す。というような何か仕組みづくりの考えはないか。

周知は介護報酬の請求事業者宛てもよいかも。また場所は文化会館、風会館、公園の横、集会所、学校のグラウンドの横などもどうか。

答 駐車場の一覧や駐車する際の取り決めは、今後、関係部署と協議する。また※ケアマネージャーの協力を得て、周知していきたい。

※ケアマネージャー
介護を必要としている方やその家族の相談に乗り、その方の身体の状況に応じた最適な介護サービスが受けられるように介護事業所や市区町村などと調整する専門職。



にしお ゆうじ
西尾 雄次

デジタル行政の後進性を改善せよ

令和5年度導入で準備を開始 町長

一般質問



全国のコンビニ店舗で取得可能に

問 市町村が発行する住民票の写しや印鑑登録証明書などを全国約5万5千店舗の端末からいつでも簡単に取得できる※コンビニ交付は、国民の約88%、石川県民の約96%が既に利用できる状態になっている。

答 コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要であり、その交付率が低かったことから導入を見送ってきた。しかし、令和3年度からマイナンバーカードの交付率が急激に伸びてきた。こうした事情から国が令和5年度に実施を予定しているデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した導入準備を始めたところだ。

問 文化会館のWi-Fi環境は本年8月末までに整備が完了した。しかし、地区公民館の整備状況は自前で整備した地区といまだその環境が整っていない地区がある。

Wi-Fi環境の整備



地区公民館のWi-Fi環境整備は？

答 地区公民館のWi-Fi環境を整えることは、地域の活動や防災拠点の充実などに大変有意義であると認識している。既に整備されている地区公民館は17地区中10地区で町会や公民館が選定し契約している。Wi-Fi環境は、地域の拠点づくりにつながる重要な機能なので、早期に整備を呼び掛け、整備された地区には運営助成を検討している。

※コンビニ交付
国の機関が運用するものでコンビニエンスストアを利用した全国的なサービス網を指す言葉。
マイナンバーカードを利用して、市区町村が発行する住民票の写しや印鑑登録証明書などを全国のコンビニエンスストア等約5万5千店舗で毎日、役場窓口閉庁後も休日でも朝の6時から夜の23時まで、全国どこにいても簡単な操作で取得できるサービス網。

突撃! 街かどインタビュー

楽しい
まちづくり

町の団体シリーズ⑰

今回は鶴ヶ丘西公民館での**鶴親会**のお茶会にお邪魔し、インタビューを行いました。



気軽に参加を

◆「楽しくお点前」を企画した向川さんにきつかけと思いを伺います。
○鶴親会では、体操・グラウンドゴルフ・集う・歌う・奏でるなどの活動をしており、静と動のバランスを考えて、落ち着いた雰囲気でお抹茶の一杯もいかなどの思いから始めました。幸い会員の中に茶道の先生がおり

ましたので、お願いしたところ、快く引き受けていただきました。

◆三野美恵子先生(裏千家)はいつ茶道に出会ったのですか。

○子育ての手が離れた30代頃、主人の親戚の方が茶道の先生をしていて教えていただきました。



和敬清寂

◆裏千家の特色と先生の茶道への考え方は。
○四千家の一つで、お茶は泡立ててまろやかな味わいで、伝統を重んじながらも新しいやり方を取り

入れている。私は、皆さんの「和の心」を大切にしています。

◆皆さんが「楽しくお点前」に参加したきっかけは。

○昔、学んでいたのもう一度やりたいと思って。○初体験をしたと思った。○お抹茶が飲みたいなあ。○「抹茶碗」ないですかと問われ、会に興味を持ち参加しました。



自由に楽しめます

◆お菓子をお茶より先に食べる理由は。
○和菓子をいただいた後に、お茶を頂くことで、口の

中に僅かに甘みが残り、より抹茶がおいしくいただけます。また、和菓子を見て四季を感じることできます。

◆茶道の魅力や茶道を通じて学んだこと・楽しかったことは。
○戸の開け方を見ていた主人に感心された。

○昔を思い出し、楽しくなりました。
○覚えることが多いが、これからも続けます。

◆町政に何を望みますか。
○町内放送が聞きにくい。
○冬季に除雪された雪が歩道に積まれ通学時に危険な状態です。早めの除排雪や融雪装置の整備をお願いします。

和ー仲良く
敬ー敬う
清ー心の清らか
寂ー動じない心

◆和菓子とお抹茶をお先に
おいしくいただきました。

インタビュー
七田満男

編集後記

前号の150号記念号のメイン記事は、まちづくりの主役として今まさに様々な現場を担っていらっしゃる19人の方々にインタビューをして、町への思いなどを伺ったものでした。桜梅桃李、皆さんの笑顔につられて、私も笑顔になりました。大事なことは、自分らしく一生懸命に頑張ること。151号の編集は、いつも以上に、そんな気持ちで取り組みました。

桜梅桃李(桜・梅・桃李の花、それぞれの良さがある。別の花に憧れても、その花になることはできない。でも、自分にしかない美しさがある。)

広報対策特別委員会

- 委員長 土屋 克之
- 副委員長 北川 悦子
- 委員 恩道 正博
- 委員 七田 満男
- 委員 西尾 雄次